

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------------|---|---|--|---|--|--|--|---|--|--|---|--|--|--|--|--|
| 保育理念 (事業運営方針) | | 「安心して生活できる場と子育て支援」 ・児童福祉法に基づき、保育を必要とする乳幼児の健全な育成を行う。 ・子どもの権利や主体性を尊重し、児童の福祉を積極的に推進すると共に、子どもの最善の利益のために保護者や地域社会と力を合わせ、家庭援助を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保育方針 | | ・縦割り保育形態の中でともに育ちあう子ども集団の確立を目指し、年齢に応じた知的欲求を満たす。 ・主体的に生活できる環境を整え、具体的な経験を通して基本的な習慣を身につける。 ・年齢に応じた発達の手立てとして、モンテッソーリ教育を取り入れる。 | | | | 保育目標 | | ・子ども一人ひとりの個性を大切に、発達に合わせた環境の中で自主性を育て、自立心を育む。 ・子ども一人ひとりの意欲を大切に、仲間と共に五感を通して、生きる力、豊かな心、考える力を培う。 | | | | | | | | | |
| ◎発達過程とクラスの相関性 ・3～5歳児は縦割り3クラス、0～2歳児は年齢別に園生活を送っている。 ・保育方針の8つの発達段階を前提に年間指導計画を作成している。 | | ◎基本的社会的責任 ・適切な法人施設運営・人権尊重・地域交流(行事への呼びかけ、参加・小学校との連携)・保育の説明責任(参観日開催の手紙配布)・個人情報保護・苦情処理解決(第三者委員設置)・情報提供 ◎小学校との連携 ・保育要録の送付・連絡会への参加・卒園児交流会 | | | | ◎地域の実態に対応した事業 さぼーと保育、希望に応じて延長保育を行っている。 ◎地域子育て支援事業 つぼみクラブ 親子製作、ふれあい遊び、育児相談など(第4土曜 10～11時) ◎地域活動事業 老人福祉施設慰問(月1回) | | | | ◎開園曜日 月～土曜日 ◎休園日 日曜日、国民の祝日・休日、年末年始(12/29～1/3) | | ◎保育時間 平常保育:7～18時 延長保育:18～19時 保育短時間認定の保育時間:8:30～16:30 (延長保育:保育時間前後1時間半) | | | | | |
| 子どもの保育目標 | | おおむね6か月未満 ・安心して生活できる環境の下で、五感を通して身の回りのものに興味をもつ。 | おおむね6か月～1歳3か月 ・自発的に周囲の物事を知ろうとし、友だちへの関心を持つ。 | おおむね1歳3か月～2歳未満 ・生活リズムが整い、安心して探索活動を行ったり、欲求を表現する。 | おおむね2歳 ・自分でやりたいという意欲が芽生え、簡単な生活習慣が身につく。 | おおむね3歳 ・自分の思いや欲求を言葉で表現し、友だちや保育者との関係を広げていく。 | おおむね4歳 ・園生活の流れや生活の仕方がわかり、自分の身の回りのことをしようとする。 | おおむね5歳 ・様々な活動に意欲的に取り組み、生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身に付ける。 | おおむね6歳 ・友だちとの関わりの中で協力したり、役割を分担したりしながら最後までやり遂げる喜びや、達成感を味わう。 | ◎主な行事 ・入園式・誕生会・ライフケア交流会・歓迎遠足・保育参観 ・保育参加・じゃがいも掘り・交通安全教室・七夕会・山笠見学 ・海遊び・平和の集い・卒園児交流会・防災センター見学・観劇会 ・運動会・七五三参拝・勤労感謝訪問・クリスマス会・鏡開き ・豆まき・発表会・ひな祭り・お別れ遠足・お別れ会・卒園式・修了式 | | | | | | | |
| 保育の内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | おおむね6か月未満 | | おおむね6か月～1歳3か月 | | おおむね1歳3か月～2歳未満 | | おおむね2歳 | | おおむね3歳 | | おおむね4歳 | | おおむね5歳 | | おおむね6歳 | |
| 養護 | 生命の保持 | ・保健的で安全な環境の中で、生理的欲求を満たすよう関わる。 | | ・十分な睡眠や休息をとりながら快適に過ごすことができるよう環境を整える。 | | ・離乳が完了し、歩行や発語への意欲が高まるよう、個人の発達に合わせて対応する。 | | ・簡単な生活の見通しを持ち、楽しみながら園生活を送ることが出来るよう関わる。 | | ・手洗い、うがいなど健康的な生活習慣が身に付き、丁寧に言うよう援助する。 | | ・手洗い、うがい、着脱、排泄などの手順や意味を理解し、見通しを持って自分から行うよう援助する。 | | ・自分の体や健康に関心を持ち、様々な活動に意欲的に参加するよう声を掛ける。 | | ・基本的生活習慣、身体づくりを身に付け、自ら進んで感染症予防などを行えるよう必要な知識を伝える。 | |
| | 情緒の安定 | ・身近な特定の保育士が応答的な関わりをし、情緒的な絆を形成する。 | | ・様々な要求に応えたり、一対一で関わる中で、甘えや不安を受け止める。 | | ・心身ともに快適に過ごすことができるよう、様々な感情を受容する。 | | 自分の気持ちを安心して表現できるよう、甘えや不安など様々な気持ちを保育士が肯定的に受け止める。 | | ・自分の気持ちを安心して表出できるように、安定した生活環境を整える。 | | ・自分の気持ちや考えを安心して表すよう、信頼関係を構築する。 | | ・主体的に活動し、自発性や探索意欲を高めることができるよう、子どもが安心してできる信頼関係を築く。 | | ・自分らしさを発揮しながら、互いを認め合うような仲間関係を作れるよう関わる。 | |
| 教育 | 健康 | ・安全で活動しやすい環境の下で、寝返りや腹ばいなど運動的な活動をする。 | | ・姿勢を変えたり、移動したり、様々な身体活動を十分にを行う。 | | ・保護者と連携を図りながら、安定した生活リズムの中、無理なく環境に慣れていく。 | | 固定遊具や、かけっこなどで、全身運動を思いっきり楽しむ。 | | ・身の回りのことを自信をもって自分で行い、できる喜びを感じる。 | | ・全身を使った遊びを十分にに行い、活動的に元気に過ごす。 | | ・気温差や活動に応じて衣服の調節を自分でしようとする。また、自分なりに見通しを持って生活する。 | | ・必要な決まりを守り、見通しを持って生活する。 | |
| | 人間関係 | ・保育士の適切な応答、積極的な働きかけ、愛情豊かな受容により、愛着関係を築く。 | | ・保育士と、物や言葉のやりとりを楽しみながら、コミュニケーションの芽生えを促す。 | | ・保育者とのふれあいや応答的な関わりの中で、信頼関係の基礎をつくり、他児への関心を高める。 | | ・保育者や友だちと簡単なイメージを共有し、ごっこ遊びを行うことで、「友だちと一緒に」の楽しさを味わう。 | | ・気の合う友だちと一緒にごっこ遊びを楽しむ。また、全身を使う遊びや、集団での簡単なルールのある遊びを楽しむ。 | | ・友だちの様子に応じて慰めたり、保育士に伝えたりするなど、相手の身になって手助けをしようとする。 | | ・自分の意見を伝えたり、友だちの考えを受け入れたりしながら、いろいろな遊びを楽しむ。 | | ・友だちと一緒に活動する中で、共通の目的を持ち、自分の役割を意識しながら協力してやり遂げようとする。 | |
| | 環境 | ・安心して人的・物的環境のもとで、聞く、見る、触れるなどの感覚を豊かにする。 | | ・戸外で座ったり、移動したりして、遊ぶ。また、身の回りのものに興味や好奇心を持つ。 | | ・探索活動が活発になり、身の回りにあるものを触ったり口に入れたりするなど、興味、関心を持つ。 | | ・遊びの中で水、砂、土など様々な感触を経験し、楽しむ。 | | ・身近な季節の自然に触れ、関心を持つ。 | | ・身近なものの色、形、大きさ、などの違いに気づき、興味や関心を持つ。 | | ・季節の自然に興味、関心を持って活動することを楽しむ。また、身近な動植物の世話をし、興味、関心を深める。 | | ・自然事象の不思議さに興味を持ち、考えたり調べたりしながら関心を高める。 | |
| | 言葉 | ・笑ったり泣いたりすることに慣れてもらい、声や喃語を十分に発する。 | | ・声を出したり、自分の意思や欲求を喃語や身振りなどで伝えようとする。 | | ・尿意や排泄をしたことを、自ら言葉やしぐさで伝えようとする。また、単語や、絵本の言葉を繰り返して発するなどして楽しむ。 | | ・保育者や友だちの言葉を模倣する。また、簡単なあいさつや会話を楽しむ。 | | ・保育者や友だちといろいろなやり取りを楽しみながら、言葉を増やす。 | | ・遊びの中で友だちとのやり取りを楽しみながら、生活に必要な言葉を知り、相手に伝えようとする。 | | ・思ったこと、感じたことを自分の言葉で表し、保育者や友だちとの会話を楽しむ。 | | ・自分の名前や簡単な文章を書くなど、文字、数字への興味関心を深めていく。 | |
| | 表現 | ・音や声に反応して、顔を向け、表情を変えたり、身体を動かして感情を表現する。 | | ・自分の欲求や気づいたことを大人に伝えようと、盛んに指差しなどをする。 | | ・クレヨンやペンなどでぐるぐるとなぐり描きを楽しむ。 | | ・のり貼り、はさみ一回切り、クレヨンなどの様々な技法を楽しむ。また、絵や粘土などで、物体を表現しようとする。 | | ・友だちや保育者と一緒に、リズム遊びや体操を楽しむ。 | | ・リズムに合わせて体を動かしたり、身近な動物や乗り物の動きを体で表現するなどして楽しむ。 | | ・友だちと一緒に、音楽に合わせて楽器遊びをしたり、体操、遊戯などをして楽しむ。 | | ・友だちと共通のイメージをもって、動きや言葉で表現したり、人前で表現することを楽しむ。 | |
| 食育 | 食を営む力の基礎 | ・適切な援助により、食に対する意欲を持つ。 | | ・幼児食へと移行していき、楽しい雰囲気の中で、様々な食事を楽しむ。 | | ・スプーンやフォークを使って自分で食べようとする気持ちを持ち、楽しみながら食事を食べる。 | | ・スプーンやフォークを下から持ち、一人で食べようとする。また、苦手なものも、保育者の言葉かけで、食べてみようとする。 | | ・季節の食材や献立に興味を持ち、楽しい雰囲気の中で食事を食べる。 | | ・食事の際の姿勢、マナーを知り、気をつけながら楽しく食事を食べる。 | | ・行事食の由来を知ろうとしたり、食材やメニューに興味を持ち、味わって食べる。 | | ・食事の大切さがわかり、好き嫌いをなく食べる。 | |
| 健康支援 | | ・健康状態、発育発達状態の定期的、継続的な把握 ・アレルギー児への対応 ・年間保健指導計画 | | | | ・年2回の嘱託医による内科健診 ・年1回の嘱託医による歯科検診 | | | | 研修計画 | | ・園内人権研修を計画実施 ・園外研修への計画的な参加(市外研修、乳児保育研修、モンテッソーリ実践研修含む) | | | | | |
| 環境・衛生管理 | | ・施設内外の設備、用具等の清掃、消毒、安全管理及び自主点検 ・子ども及び職員の高圧洗浄 | | | | 特色ある保育 | | ・モンテッソーリ教育 ・隣接する老人福祉施設との交流(月1回) | | | | | | | | | |
| 安全対策事故防止 | | ・毎月避難訓練(火災、地震、水害、不審者対応)を実施 ・年2回の消防点検 ・消火訓練の実施 | | | | 町への行事参加 | | ・運動会 ・夏祭り ・文化祭 ・観劇会 | | | | | | | | | |
| 保護者・地域への支援 | | ・地域子育て支援事業の実施 ・地域行事への参加、交流 ・実習生等の受け入れ | | | | 自己評価 | | ・保育園の評価(全体の反省による保育課程の反映) ・自己チェックリストの作成 ・第三者評価の理解 | | | | ・保育士の評価(自己評価と子どもの評価の確立) ・職員人事考課 | | | | | |